



学校法人 志賀学園
認定こども園
平第一幼稚園
令和4年4月28日

園庭のこいのぼりが爽やかな風のにり気持ちよさそうに泳いでいます。
五月晴れの空の下、園庭で遊ぶ子どもたちも、とても気持ちよさそうです。

泣きながら登園して来ていた新入園児の皆さんも、一人ひとり泣いている時間が短くなってきて、今では泣かずに生活できるようになりました。日々の生活の積み重ねが安定した生活へと繋がってきているようです。また、進級児は集団生活に慣れてはいるものの、こども園に移り新しい環境に緊張感を持って生活しているお子さんもありますので、子どもの気持ちを受け止め、子ども一人ひとりと心を通わせ、子どもの言葉や態度に共感し、より良い信頼関係が築いていけるようにしていきたいと思えます。

0～1歳児クラスのたんぽぽ組とちゅうりっぷ組のお子さんが先生に向かって手を差し伸ばす姿は、こども園のお母さんとして信頼関係ができたことを感じます。

もも組の子ども達は、泣きながら登園する子も多かったのですが、おんぶや抱っこで先生に温かく関わってもらうことにより安定した気持ちで過ごすことができるようになってきました。

ばら組の子ども達も、泣きながら登園する子もいましたがだんだん落ち着いてきて泣き声も少しずつ聞かれなくなりました。先生と一緒にブロックやおままごとで遊んで楽しむ姿も見られ、生活のリズムや1日の流れも覚えてきました。

すみれ組の子ども達は、進級したことで戸惑いや不安な様子が見られましたが、新しいお友だちの名前を覚え、お部屋で仲良く遊んだり、園庭の遊具や人工芝生に寝転んで感触を楽しむ姿が見られるようになりました。

さくら組の子ども達は、新しいクラス的环境にも慣れてきて、自分からお友だちを誘い、一緒に遊んだり、人工芝生の上ででんぐり返しや忍者回りをして楽しんだり、小さい子の面倒を見たり一緒に遊んだりする姿も見られるようになりました。

また、先日は、新型コロナウイルス感染の為休園とさせて頂きましたことに対する保護者の皆様のご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染のリスクをなるべく最小限に抑えるためにも先日配布いたしましたプリントを再度ご覧頂き、ご家庭での過ごし方や三密回避、5月の連休は、不要不急の外出を控える等、感染予防にご協力くださいますようお願いいたします。

連休明けの子ども達は、4月のはじめの頃に戻ってしまうケースも少なくありません。連休中も疲れすぎないように、規則正しい生活を心がけましょう。子ども達は今、スタートラインに立ったところです。この時期は、木でいえば、根っこの部分をしっかり育てておく時期です。子どもの歩調に合わせ、保護者の皆様と共に、長い展望を持って育てて参りたいと思えますので、ご協力宜しくお願い致します。

吉竹 芳江